

輸送動向について（8月分）

平成24年9月

1. 輸送概況

今月は、下旬に山陽線において貨物列車の機関車の不具合に伴う輸送障害が発生したほか、30日には宮城県沖地震による運転規制の実施もあり、月全体では高速貨34本が運休となった。

荷動きについては、東日本大震災からの復旧に伴い企業の生産活動の回復に加え、上旬には気温の上昇に伴い飲料水等の季節物資の出荷が強勢となった。しかし、依然として広範囲な業種で販売不振による荷動きの停滞が続いているため、月全体では比較的低調に推移した。

コンテナ貨物は、化学薬品が前年を下回ったものの、紙・パルプ、食料工業品等が前年を上回り、全体では前年比106.1%となった。化学薬品は一部メーカーの生産設備不具合の影響等により減送となった。一方、紙・パルプは前年の震災による出荷減の反動に伴い、大きく増送となった。また、食料工業品は猛暑により清涼飲料水の出荷が好調であったため増送となった。

車扱貨物は、石油が前年を上回ったものの、その他品目となる鉱石が一部顧客の節電のための操業停止により前年を下回り、全体では前年比98.3%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,635	1,540	106.1%	8,301	7,646	108.6%
車 扱	749	762	98.3%	3,301	3,555	92.8%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	140	137	3	102.2%
	化学工業品	153	148	5	103.4%
	化学薬品	105	112	-7	93.8%
	食料工業品	268	250	18	107.2%
	紙・パルプ	246	210	36	117.1%
	他工業品	132	125	7	105.6%
	積合せ貨物	165	158	7	104.4%
	自動車部品	73	70	3	104.3%
	家電・情報機器	39	36	3	108.3%
	エコ関連物資	34	25	9	136.0%
	その他の	280	269	11	104.1%
コンテナ計	1,635	1,540	94	106.1%	
車 扱	石油	495	487	8	101.6%
	セメント・石灰石	119	119	0	99.8%
	車 両	72	76	-4	94.6%
	その他の	63	81	-18	78.3%
	車 扱 計	749	762	-13	98.3%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）